



質問したら転勤、副市長

6月議会「副市長の目標管理」へ答弁直後もう東京

岐阜市議会 6月議会で松原のりかずが副市長・高給だが「副市長の目標管理」が広報に掲載されていない件を「掲載し、市民に明らかにするべき」と質問しました。答弁は簡単に言えば「掲載しないが、仕事は頑張ります。」的、答弁でした。しかし、その答弁直後（議会中に発表）に2年で人事異動、東京本省へ配転です。あの答弁は何？

在勤が短期間で、目標を明確にしないと何も実行せずに退任されてしまう。

副市長の目標管理も全部長と同じく広報岐阜に掲載をすべきです。

岐阜市においては2003年度から労務管理としての「目標管理」が導入されました。業務方式としてはフラット化、グループ制、〇〇室制度などが失敗し、係長制度が復活しています。目標管理にともない、全職員に面接が行われているはずですが、職員心理や職場実態が十分把握されているとは思えません。

岐阜市の自殺率は年間1.0人であり、人口30万人以上の全国66市の平均値0.44人の倍以上です。現在、公務災害認定を求めての裁判も行われています。

今日までの、岐阜市の労務管理への批判はありますが、現存する十分ではない目標管理が全職員に適用され、全部長の目標が広報岐阜で公開されている中で、疑問が在ります。副市長の目標のみ公開されていないことです。そこで、1点、佐藤哲也副市長に伺います。

1 副市長の任期中の具体目標を明確にし、広報岐阜で公開すべきと考えますが、お答え下さい。

副市長の答弁要旨

検討結果、1 市ホームページの副市長の紹介ページを活用する。2 副市長目標は複数年（2年は確かに複数年？）にまたがるので、広報紙よりホームページが継続性（部長は1年でコロコロ換わる？）を確保できる。広報に「副市長はホームページを」と案内している。自身の目標は、① にぎわい溢れるまちづくり（メディア・JR東・高島屋南） ② スマートウェルネスぎふ推進（健幸チャレンジ・健康ステーション） ③ 広域幹線道路網の構築（東海環状促進・コミバス促進）の3点。

※ いずれも、各部長が出している方針の羅列の答弁。「継続性」と「自分では何も考えない」事とは違う。任期中事故のないようにして、戻るのが周りの仕事？（M）

連絡先 岐阜市会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500



7・18行動

右上の「アベ政治・・・」は、金子兜太さん（中日新聞一面の平和の俳句選者）書です。澤地久枝さん提案で、この書を18日13時に全国いっせいに掲げる行動が呼びかけられました。松原のりかず参加。「かかげましょう。我が家の前、窓辺、国会前、駅、学校、街、村。示すのは勇気のいる世の中かもしれません。許さない勇気が試されます。政治の暴走をとめるのは、私たちの義務です。権利でもあります。」（澤地久枝さん）